片桐英数塾通信

より早く！　より深く！　未来に向かって！

「学ぶ」こと　「生きる」こと

かれこれもう10年になるのか・・・と、最近、ふと思い出す。それは私がとある企業の営業として働いていた時のことです。製造業を営む企業を訪問し、代表者との面談を請う。奥にいるからと通される。代表者が何やら怖い顔をして何かを睨んでいるのが見え、声をかけるのをためらいながら声をかける。「あぁ、君か・・・。」と、幾分表情を和らげた後に、これを見ろと、睨んでいたものを差し出す。全く同じ製品二つ。「君にこの製品の違いが分かるか?」と尋ねられる。どう見たって同じ製品・・・。違いなど全く分からない。まぁ、私も営業でしたので、そこは「違いは分かりません。しかし、良くできてますよねぇ。素人にもそれだけは分かりますよ。」などと、若干歯の浮くような言葉を添えてみた。代表者はニコリともせず、「そうか・・・。分からんか・・・。」と言った。その後、「わしもや・・・。」と続けた。何が何だか話が見えず、訳を聞いてみると、1つが国内で製造したもの、1つが製造コストを抑えるために外国で製造したものとのこと。当時、まだ技術的には国産が優れているという考えが主流だったので、随分と驚いたのを覚えている。その後、「もしかすると、10年も経つと、日本の誇るハイテク分野ですら追いつかれているかも知れんぞ。外国の技術を習得するスピードは想像を絶するほど速い・・・。速過ぎる・・・。」と話されていたのを、最近よく思い出します。

さて、10年後の今・・・。

ただ、かと言って、今日まで景気も悪い悪いと言われながらも、何とかなっている状態が続いてきたこともあり、私の中には、変化は有っても何とかなるだろう、という根拠の無い安心感があったのですが、2008年のリーマンショック、2011年の東日本大震災と原発事故などで随分と様子が変わってきたところに、極めつけの今年の夏以降の近隣諸国とのいざこざで、変化はかつて無い程の規模で襲いかかってきているように感じ、根拠の無い安心感などは、最近ではどっかに飛んでいってしまいました。

変化と言えば、新聞や雑誌などでの論調も随分と変化してきたように感じます。まだ、去年くらいまでは、どことなく「まだ大丈夫」感がありましたが、最近では「もう、さすがに・・・」感が漂いつつあるように感じます。何だかんだありましたので、国内から海外へと出て行っていた企業も、国内に回帰する動きを見せるのかと思うと、どうやらそうはならないようで、やはり外へは向かう動きのように感じます。

外へと言えば・・・。最近、新聞を見ていて驚いたことの一つに、地方銀行までが海外に収益源を求めるようになり、人材も語学のできる人を求めるようになるようなことが書かれてありました。もちろん極一部の業務に関してなのでしょうし、これまで地方銀行でも海外に支店を持つところはあったので、今更私は驚き過ぎているのかもしれませんが、新聞を読む中で、空洞化に伴う細りゆく国内市場・地方経済、そして、その中での加熱する採算スレスレのシェア争い、そこへのゆうちょ銀行、さらには円滑化法の問題や今後の国債の問題、これらを想像してしまい、その想像にどうしても驚いてしまいます。しかし、恐らく、今後、地方銀行も外への意識を高め、実際に動きを強めるのでしょう・・・。

新聞や雑誌を読みながら、私が勝手に思うのですが、この変化の流れはどうにも一過性に終わらず、しばらくは続くと思えてなりません。となると、これからどうなっていくのでしょうか。拙い想像で恐縮ながらも、ほぼ毎日、これから近い将来、世に出て行く人たちと接していますと、どうしてもこれから先の世を想像し、今、これからの人たちはどうすべきか、と考えてしまいます。

理系学部に進学した子らと話していると、かなりな割合で大学院へと進学しているようです。彼らが言うに、就職するには、どうやら学位が大切らしく、それを目指して大学院へと進学している部分が少なからずあるようです。どうやら、より高度な専門性が求められていて、「学ぶ」というものも必然的にハイレベル化してきているように思います。

また、世の中の変化の流れは、外へと向かっています。(個人的に全く嬉しくありませんが・・・)。その外へと向かう世の中でいかに「生きる」かが、どうやらこれからのメインテーマになってきているように思います。卒業生の中にも、そして保護者の方の中にも「将来を生き抜くには、国内にこだわっていてはいけないのではないか・・・。外でも生きれるだけの力を・・・。」という話がポツポツと出てきています。

しかし、だからと言って、今、目の前のこと以外にすべきことがあるのか?と言うと、そうではないと思います。ただ、「学ぶ」ということを、もっと早く意識し、行動を始め、そしてもっと深く理解し身に付けようとすることがとても重要になってくると思います。今、目の前にあることに、もっともっと真剣に取り組むことが大切だと思います。今後、さらに専門化、ハイレベル化するであろう世界の中では、基礎となる力が何よりも必要です。

今、既に良い集中力で頑張っている高3生は、そのペースで頑張って下さい。このことは、特に高1生、高2生、そして中学生にも知っておいてもらいたい。勉強とは、早く、深く、取り組むことが、「大学受験」のみならず、未来を見据えた上でもとても大切になってきます。なぜなら、国内のみならず、真の国際人として、国外でも活躍しようとするならば、今、中学、高校で学んでいるものは学問の基礎なのですが、その学問の基礎を固め、教養を深め、人間性を高めておくことが何よりも大切だと思えてならないからです。だから、今すぐに、「学ぶ」ことの意識を切り替え、行動を切り替え、未来に向かって歩みを進めて欲しいと思います。

「学ぶ」ということが「生きる」ということに近づいていくような、そんな予感がしています。

河合サテライトネットワーク校
全統模試実施校
坂本教室 OFFICE
TEL　24-1337
FAX　82-6185
天神教室
TEL　23-1899
E-mail
info@katagirijuku.com

KATAGIRI
KATAGIRI English and Mathematics School

小学６年生特別授業
11月３日(土) スタート！

君たちの可能性は無限大！！『わからないことがわかった！』『できなかったことができるようになった』それが少しずつ積み重なって、大きな夢が実現できます。『わかった』と『できた』をたくさん経験すれば勉強が楽しくなってきます。その学習習慣を今から一緒に身につけていきましょう！！毎週土曜日開講！
詳しいお問い合わせは坂本教室まで！

センター試験まであと８０日！
高校受験まであと４か月！
中高生向け映像授業を活用して合格をひきよせろ！！

中学部

- 予習、復習ができて、成績がグンと上がった。診断や本番の入試にも同じようなものがたくさん出たのでとても役に立った。(S.K くん)
- 先生方の熱心な指導がよかった。(S.S くん)
- 基礎の細かいところまで見直せるので、分からないところが理解できました。(H.M さん)
- 映像授業で苦手教科を復習し、理科を好きになりました。(H.S くん)

高校部

- サテライト講座のおかげで苦手教科が得意教科になりました。いくら感謝しても感謝しきれません。(T.S くん)
- 高２の時からこつこつ受講しました。分からないところは、映像を止めて考えたり繰り返し見るようにしました。(R.I さん)
- グラフィックスなどを用いて説明してくれるのでとても理解しやすいです。(K.T くん)
- どの授業もすごく丁寧な説明で、基礎をしっかり固めるのに役立った。私立対策も十分に出来ました。(A.S さん)

坂本教室からのお知らせ

お迎え時の車の混雑について、保護者の皆様にご理解とご協力をお願いします。お迎えの際には、駐車場内での安全走行、エンジン停止にご協力いただくとともに、ご近所出入口などでの路上待機、他の駐車場の無断使用などはご遠慮いただきますよう、重ねてお願い申し上げます。

＊坂本教室の11月の休日は、4日(日)11日(日)18日(日)25日(日) です。

HP ｱﾄﾞﾚｽ　http://www.katagirijuku.com
ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ　katagirijuku@docomo.ne.jp